難関国公立大 英語

目　次

第１講　難関レベルの和訳問題を考える①	p4
第２講　難関レベルの和訳問題を考える②	p8
第３講　難関国公立大英語　長文演習①	p15
第４講　難関国公立大英語　長文演習②	p23

はじめに

この講座は東大・京大を除く旧帝大レベルを目指す人のために，最新の過去問（2018 年の問題）のみを使って，和訳問題対策をします。授業では一方的な知識の伝達ではなく，合格に必要な「考え方」と「合格ライン」を明確に示します。模試の判定ではわからない，「実際の入試問題を使うからこそできる，合格するレベルに必要な考え方」を示します。

来春，志望校に合格した際に，「この秋期講習での授業が合格を手に入れるのに役立った」と言ってもらうつもりでボクは授業をします。

★授業を受ける前に…

授業を受ける前に予習をしてください。必要なところはアーカイブや参考書を見直してください。また，テキストの解答も確認してから授業を受けてください。授業は答え合わせ会ではなく，思考の流れを確認するためのものだからです。

関　正生

第１講　難関レベルの和訳問題を考える①

1　次の英文を和訳せよ。

Rudolph Schaffer has remarked that babies are unable to restrain themselves from reaching out to grab any new object that is put before them. Not until the last quarter of the first year will babies stop to take a good look at what is presented to them before reaching out to grab it.

2　次の英文の下線部を和訳せよ。

One experience that has always remained with me involves my undergraduate research robot, Vagabond, exploring the sandstone arcades of the central quadrangle at Stanford University. Our goal was to create a navigation program that would enable Vagabond to travel anywhere in the quad, and we had gone so far as to measure and map, by hand, the complete layout of the area — the position of every hallway, curb, and pillar down to the nearest centimeter. Navigation software enabled Vagabond to measure distances to walls and columns using sonar, estimate its position in the handmade map, then navigate the walkways to a goal destination. Along the way, Vagabond used the same sonar sensors to detect people in its path, stopping or patiently attempting to navigate around them while continuing to track its position.

[Nourbakhsh, Illah Reza., Robot Futures, p.56, © 2013 Massachusetts Institute of Technology, by permission of The MIT Press.]

3 次の英文の下線部(1)，(2)をそれぞれ和訳せよ。

The first humans arrived in Indonesia thousands of years before previously thought — which could mean they were present for an eruption at the Lake Toba supervolcano just over 71,000 years ago.

(1)Newly analyzed fossil evidence also places these early humans in rainforest environments, causing a major rethink of how these people traveled across the land after leaving Africa about 30,000 years earlier. Researchers have long theorized that early humans likely moved along the coast because it was safer and had better resources than the jungle.

How and when humans dispersed across the globe are ongoing questions that grow more difficult to answer as new fossil evidence is unearthed. For example, the earliest *Homo sapiens* fossils ever found were recently discovered in Morocco — far away from the parts of south and east Africa we tend to think of as the "cradle of humanity."

The generally accepted migratory route for early humans is via northern Africa and into the Middle East. From here the path splits, with one going toward Europe and the other into Asia, moving south through India and down to Thailand before crossing into Indonesia and Australia. The timeline for this dispersal is incomplete because the fossil evidence is limited.

In a study published in the journal *Nature*, scientists have now accurately dated two human teeth first discovered on the island of Sumatra in the late 19th century, showing our ancestors were living there between 73,000 and 63,000 years ago. Genetic studies have placed humans in Southeast Asia by 60,000 years ago, but

the previous oldest fossil evidence dated to just 45,000 years. This new evidence pushes the timeline back thousands of years farther.

The teeth were found in the Lida Ajer cave in the Padang Highlands of Sumatra. They are the first evidence of humans in Indonesia and the first evidence of humans occupying a rainforest environment.

The finding has surprised archaeologists. Until now, Kira Westaway, an environmental scientist at Macquarie University in Australia, tells *Newsweek*, "The earliest evidence for modern humans using rainforest environments was from around 45,000 years ago in Niah Cave, Borneo." These regions seem an unlikely place for early humans to live. "Rainforests are difficult environments to live in," says Westaway. "They require technological innovations and sophisticated hunting techniques for survival."

This research reveals that people inhabited the rainforest far earlier than previously suspected. (2)"Finding an early modern human presence in such a location is remarkable as it suggests that these skills were in place by this time," says Westaway.

[Indonesia: First Humans May Have Arrived in Sumatra in Time for Toba Supervolcano Eruption by Hannah Osborne. Newsweek. Sep. 8, 2017.]

テキスト解答

第１講　難関レベルの和訳問題を考える①　　解答

1

解答

【修正済み和訳】

ルドルフ・シェッファーは以下のように言っている。赤ん坊は目の前に置かれた新しい物体が何であれ，それをつかもうとして手を伸ばすのを抑えられない。赤ん坊は，生後９か月になってやっと，目の前に置かれた物にすぐに手を出さず，それをじっくりと見て，そしてつかみ取ろうとして手を伸ばすのである。

【参考】

ルドルフ・シェッファーは，赤ん坊は，目の前に新しい物体が置かれると，それが何であれ，それをつかもうとして手を伸ばすのを抑えられないのだと言っている。赤ん坊は，生後９か月になってやっと，目の前に置かれたものをつかもうと手を伸ばす前に，それをよく観察するために立ち止まるようになるだろう。

2

解答　和訳 下線部参照

和訳

　いつも私の心にある経験の１つに，学部生のときに研究したバガボンドというロボットがある。そのロボットは，スタンフォード大学の中央広場にある砂岩でできたアーケードを調査していた。私たちの目標は，バガボンドが広場のどこにでも移動できるようなナビゲーション・プログラムを作ることで，<u>手作業でその場所のすべての間取りを測り，見取り図を作ることまでしていた</u> ── あらゆる廊下，縁石，柱の位置を１センチ単位で。ナビゲーションソフトのおかげで，バガボンドはソナーを使って壁や柱までの距離を測ったり，手作りの見取り図における自分の位置を推定したり，さらには，歩道を通って目的地まで行ったりもできるようになった。その途中で，バガボンドは同じソナーセンサーを使って進行方向にいる人々を探知すると，立ち止まったり，自分の位置を把握し続けながら丹念に彼らを避けて通ろうとしたりした。

3

解答

（1）　和訳 下線部参照

（2）　和訳 下線部参照

和訳

インドネシアに初めて人類が到着したのは，これまで考えられていたよりも数千年前のことだった──これは，彼らが7万1千年以上前に起こったトバ湖にある超巨大火山の大噴火に立ち会っていたということを意味する可能性がある。

(1)新たに分析された化石証拠によって，そのような初期の人類が熱帯雨林に存在していたこともわかっており，それにより，インドネシアに到着した人々がその3万年前にアフリカを出発してから地上をどのように移動したのかに関する大幅な見直しが行われた。研究者たちは長らく，ジャングルよりも沿岸の方が安全で資源が豊富なので，初期の人類は沿岸に沿って移動したのであろうという説を唱えている。

人類がどのように，いつ世界中に分散したかは今も続いている問いであり，それは新たな化石証拠が出土するにつれて解明するのがますます難しくなっていく。たとえば，今までに発見された中で最も古い「ホモ・サピエンス」の化石は，最近モロッコで見つかった──そこは，私たちが「人類発祥の地」だと考えがちなアフリカの南部および東部からは遠く離れている。

一般に受け入れられている初期の人類の移住ルートは，北アフリカを通って中東に入っていくというものである。経路はここで分かれ，片方はヨーロッパに向かい，もう片方はアジアに入っていき，インドネシアおよびオーストラリアに着く前にインドを通って南下し，タイまで下った。この分散の時系列は，化石証拠が限られているため，完全なものではない。

雑誌『*Nature*』で発表された研究で，研究者たちはすでに，19世紀の後半にスマトラ島で初めて発見された2本の人間の歯がいつのものなのかを正確に特定していて，私たちの祖先が7万3千年前から6万3千年前の間にそこに生きていたことを示している。遺伝学研究により，人類が6万年前までに東南アジアに存在していたことがわかっているが，それまでの時点で最も古かった化石証拠は，たった4万5千年前のものだった。この新しい証拠が時系列をさらに何千年も前に押し戻した。

その歯はスマトラ島のパダン高地にあるリダ・アジェール洞窟で見つかった。それらは，人類がインドネシアにいたことを示す初めての証拠であり，人類が熱帯雨林に住んでいたことを示す初めての証拠である。

その発見は，考古学者を驚かせた。オーストラリアにあるマッコーリー大学の環境科学者であるキラ・ウェストアウェイは，これまで『*Newsweek*』において，「現代人が熱帯雨林を使っていたことを示す最古の証拠が，4万5千年ほど前のボルネオのニア洞窟から発見されました」と言っている。それらの地域は，初期の人類が住んでいた可能性は低いような場所に思える。「熱帯雨林は住むのが難しい環境です」とウェ

ストアウェイは言う。「生き抜くためには，技術革新と高度な狩猟術が必要です」
　この研究によって，人々がそれまでに推定されていたよりもはるか前から熱帯雨林に住んでいたことが明らかになっている。(2)「そのような場所に初期の現代人が存在したという発見は，上記のような技術がその時までに使われていたということを示すので，注目に値するのです」とウェストアウェイは言う。